

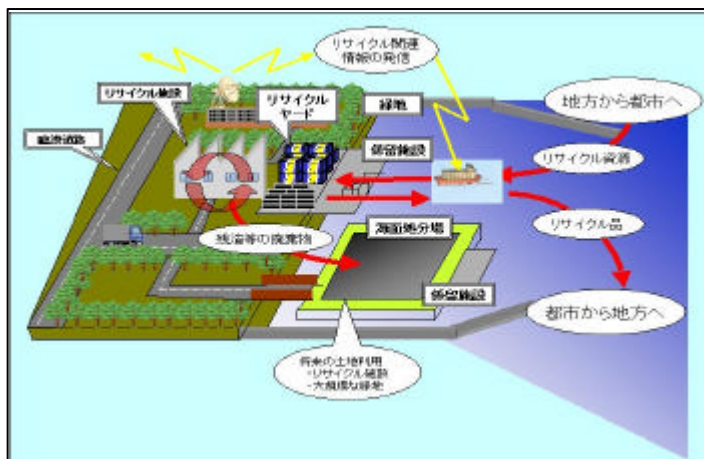
港湾を核とした総合的な静脈物流システムの構築

循環型社会実現のための静脈物流システムの構築

循環型社会の実現を図るため静脈物流の拠点となる港湾において、既存ストックを最大限に活用し、物流コストの低減及び環境負荷の軽減を主眼においた静脈物流システムを構築する。特に、大量のゴミの廃棄で処理の限界に至っている大都市圏においては、臨海部の低・未利用地等を最大限に活用し、新しい循環型の都市に再構築すべく、エコタウン事業と連携しつつ、総合的な静脈物流拠点の形成を図る。また、ゴミゼロ型都市形成のための静脈物流システムの構築に係る調査を実施する。

総合的な静脈物流拠点の概念図

大規模なリサイクル処理施設の集中立地、残さ処分のための廃棄物海面処分場、ストックヤード等の静脈物流基盤の整備を一体的に展開し、循環資源の収集・輸送・処理の総合的な静脈物流拠点を形成



港湾のポテンシャル

- ・大規模なリサイクル処理施設の拠点的立地に必要な広大な用地の確保が容易
- ・物流基盤が既に整備（岸壁、臨港道路等）



循環型社会実現のための静脈物流システムの構築

既存ストックを最大限に活用し、総合的な静脈物流拠点をブロック毎に拠点的に配置

海上輸送を活用した広域静脈物流ネットワークの形成



21世紀の新しいリサイクル 静脈産業空間として港湾を活用

広域静脈物流ネットワークの概念図

静脈物流拠点を長距離大量輸送に適し低廉で環境にやさしい海上輸送により広域ネットワーク化し、収集・輸送コストの削減を実現

